

2010 年度前期 専攻 教育改善委員会 議事録 (案)

1. 実施日時と場所

平成 22 年 9 月 24 日 (金) 14:00~14:50 都市システム工学科 東棟 3F 会議室

2. 出席者

常勤教員：横山功一，小柳武和，三村信男，沼尾達弥，金利昭，小峯秀雄，井上涼介，
山田稔，寺内美紀子，桑原祐史，信岡尚道，藤田昌史，車谷麻緒 (全常勤教員
17 名のうちの 13 名が出席)

(常勤教員のうちの欠席者：呉 智深 (紙面参加)，横木裕宗 (紙面参加)，
原田隆郎 (サバティカル期間中)，村上 哲)

非常勤教員：無し。

技術職員：無し。

3. 点検評価の結果

3.1 授業方法で優れている点

- ・ 前半ではベクトル解析，物理数学，弾性波動論の基礎から徹底的に講義し，後半は工学への応用問題を扱った。(地震工学特論)
- ・ 事例の紹介やビジュアルな資料を使用し，実習や発表会などを取り入れて，楽しくかつ理解しやすい授業にしている。(景観設計特論)
- ・ 原理原則に関する説明を徹底して行っており，随時課している演習問題は 100%理解するまで繰り返し提出させるようにしている。(構造工学特論)
- ・ 時宜にあったトピックを話している。(土木計画学特論)
- ・ 一度日本語で理解していることを英語で読ませることにより，繰り返しによる深い理解と英語への抵抗をなくすことを期待して，英語のテキストを紹介・配布している。(沿岸環境形成工学特論)
- ・ 外部講師により維持管理の実務について話題提供してもらった。効果的でよい刺激となっている。(構造物維持管理学特論)
- ・ 実際のデータ処理や最新のトピックについて，外部講師をお願いした。学生の評価も高い。(国土空間情報特論)

3.2 授業方法で改善すべき点

- ・ 都市システム工学演習 I，都市システム工学特別研究 I，サステイナビリティ学特別演習 1，サステイナビリティ学特別研究 I の成績評価法について，評価基準を明確にする。(景観 G，水圏 G)

3.3 授業に関して出たその他の意見

- ・ 実習型演習課題と解説型授業の組み合わせを継続して検討している。（景観設計特論）
- ・ 受講生が増えるとよい。（土木計画学特論）
- ・ 土曜日授業の可能性を検討してみては？（金先生）

4. 課題に対する対応

上記の課題に関しては、今後教務・学務WGを中心に引き続き検討していくことを確認した。

以上